

第2580地区

東京セントラルパークロータークラブ

The Rotary Club of Tokyo Central Park

Weekly Report

2016～2017年度スローガン

『 伝えよう！クラブの歴史と文化を 』

第17回（通算1611回）2016年11月8日

◆ ◆ ◆ 本日の例会 ◆ ◆ ◆

- | | |
|------------------------------------|-----------------|
| 〈1〉 開会点鐘・会長挨拶 | 10月のニコニコ大賞 佐野会員 |
| 〈2〉 ローターソング「日も風も星も」 | 〈7〉 メークアップ報告 |
| 〈3〉 ビジター紹介 | 〈8〉 委員会報告 |
| 〈4〉 幹事報告 | 〈9〉 ニコニコBOX 報告 |
| 〈5〉 出席状況報告 | 〈10〉 閉会点鐘 |
| 〈6〉 今月の皆出席表彰 2名
杉本会員 1年 阿部会員 1年 | |

◆ ◆ ◆ 本日の卓話 ◆ ◆ ◆

本日の卓話

「相談事例から見る社会的孤立の現状～「地域共生社会」実現のために～」

中野区社会福祉協議会事務局次長 あきもとけんさく 秋元健策氏

次週の例会 〈11/15〉「東京セントラルパークRC・東京御苑RC 合同例会」

— ローター財団100周年の意義 —

地区補助金委員会委員 松林 茂 会員

◆◆◆ 先週の例会記録 ◆◆◆

2016年11月1日 第16回(通算1610回)
開会点鐘 富永会長 27F「エクセレンス」
*ビジター紹介 1名 國分孝夫様(東京練馬西)
*ゲスト紹介 1名 ジョン テホさん(卓話者)
出席 23名 欠席 8名 (免除者 1名)
出席率 76.66% 補正出席率(10/18)93.54%

◆◆◆ 幹事報告 ◆◆◆

1. 理事会報告 11月度日程
11/1 米山奨学生ジョンテホ君「私の研究—コンテンツの力」、11/8 中野区社会福祉協議会事務局次長秋元健策氏、
11/15 東京御苑ロータリークラブとの合同例会「ロータリー財団100周年の意義」地区補助金委員会委員 松林茂会員、11/22「照明市場の展望」(株)遠藤照明営業本部関東営業統括部担当部長 上原徹広氏、11/29 特別例会日
2. 11/15 開催東京御苑ロータリークラブとの合同例会について、一般例会と変わり無いですが、松林会員の卓話です。
3. 12/20 家族親睦忘年会に関して、18時例会続いて懇親会です。会場は27F、会費は会員2万円20歳以上の同伴者1万円小学生以上20歳未満5千円です。
4. 安田順一氏の入会に関して 異議なし。
5. 地区大会の登録に関して 11/11までに登録をお願いします。登録料は自己負担とします。

第5回理事役員会議事録

11月1日11:00より27F「アプローズ」にて第5回理事役員会を開催。審議内容は下記です。
富永、白石、渡辺、古内、橋本、松林、萱森、花形、杉本、鈴木 (以上10名)

1. 10月会計報告が橋本会計よりなされ承認
2. 11月度日程が承認された
11/1 米山奨学生ジョンテホ君「私の研究—コンテンツの力」、11/8 中野区社会福祉協議会事務局次長 秋元健策氏、
11/15 東京御苑ロータリークラブとの合同例会「ロータリー財団100周年の意義」地区補助金委員会委員 松林茂会員、

11/22「照明市場の展望」(株)遠藤照明営業本部関東営業統括部担当部長 上原徹広氏、11/29 特別例会休会日

3. 11/15 東京御苑ロータリークラブとの合同例会について 一般例会日と特に変わりませんが、当会会員松林氏の卓話です
4. 12/20 家族親睦忘年会について 花形会員より報告 会場は27F 会費は会員2万円20歳以上の同伴者1万円小学生以上20歳未満5千円とする
5. 安田順一氏の入会について 異議なし
6. 地区大会登録について 11/11までに登録を行い、登録料は自己負担とする
以上の通り報告します。 幹事/鈴木一成

会長ノミニー推薦指名委員会議事録

11月1日(火)12:00~ 27F「アプローズ」にて開催、下記議案につき審議し承認された。

出席者/富永、渡辺、古内、白石、松林、萱森、杉本、阿部、勝俣、鈴木 以上10名(敬称略)

【議案】

2018-19年度会長ノミニー推薦指名の件
富永会長より2018-19年度会長に松林茂会員を推薦し出席者に問うたところ、満場一致で可決された。松林茂会員もこれを受諾した。

以上の通り報告します。 書記/幹事:鈴木

クラブ諮問委員会議事録

11月1日(火)12:15~ 27F「アプローズ」にて開催、上記議案につき審議し承認された。

出席者/富永、原田、小林、前田、渡辺、古内、鈴木 以上7名(敬称略)

富永会長より会長ノミニー推薦指名委員会にて会長ノミニーとして松林茂会員を推薦し受諾されたことを報告、諮問委員会に問うたところ、満場一致で可決された。

以上の通り報告します。 書記/幹事:鈴木

11月
ロータリー財団月間
「ロータリー財団100周年」

◆◆◆ ニコニコBOX 報告 ◆◆◆

原田会員：会議に遅刻して・・・早退します。
 内尾会員：早退します。申し訳ありません。
 橋本会員：本日、早退いたします。

今週の合計 3件 5,000円
 今年度累計 438,503円

◆◆◆ 先週の例会より ◆◆◆



東京練馬西 RC よりお越しの國分様



11月のお誕生日、結婚記念日の皆さん

親睦のご案内

- ★ **酒粋会** 11月8日(火)午後6時00分～千代田区九段北「手だれ屋敷」にて開催
 会費@6,000円(当日集金します。)
 小野代表幹事(携帯:090-9150-8354)
- ★ **落語会** 11月12日(土)午後1時00分日本橋三井ホールにて開催(開場12時～)
 落語会費@4,000円(当日集金します。)
 落語会終了後の懇親会は「美寿思」にて。
 港区東新橋 1-8-1 カレッタ汐留 46F
 TEL 03-6218-4100 会費@11,000円
 ※ チケットは当日開場にてお渡しします。

2016-17年度
 国際ロータリー第2580地区大会

2017年2月1日(水)・2日(木)にホテルニューオータニにて開催されます。ホストクラブは東京上野RCです。今年度の大会のテーマは「出会いを大切に」となっており、重点項目は「親睦と研修」で大会2日目の本会議前には「新入会員昼食会」(入会2年ほどの会員が対象)を予定。登録料は3,500円です。本会議場前では東京藝術大学による美術展を開催、また、友愛の広場では「東日本大震災から5年・地区内RCの震災復興支援活動」、上野物産展、模擬店等、多彩な企画を予定。
 会員の皆様には2日(木)13:00～の本会議へのご参加をお願い致します。登録料は本会議、懇親会で1万円、ご家族は5千円となっております。全員参加をお願い致します。

※ 11月1日に案内文を配布いたしました。
 出欠のご返事は **11月11日(金)必着**でクラブ事務局(Fax:03-3312-4958)まで お願いします。

—事務局からのお知らせとお願い—

- * 例会欠席の場合は、前日までに事務局にご連絡下さい。
- * 次週15日(火)は御苑RCとの合同例会となっております。

例会日 毎週火曜日 12:30～13:30

例会場 ハイアットリージェンシー東京

会長 富永 英久 副会長 白石 正

幹事 鈴木 一成 会報委員長 杉本 義孝

事務局 〒166-0004

東京都杉並区阿佐ヶ谷南 1-34-6 新東京会館

TEL(03)3312-4959 FAX(03)3312-4958

E-mail: info@tokyocentralpark-rc.com

http://www.tokyocentralpark-rc.com/



◆◆◆ 先週の卓話 ◆◆◆



「私の研究—コンテンツの力」

2016年度米山奨学生 田 泰昊さん

2016年8月22日。リオデジャネイロオリンピックの閉会式があった日です。最後に次のオリンピックの開催地である東京に観客を招くパフォーマンスが行われました。その映像やパフォーマンスは全世界の人々を熱狂させました。私もその画像を何度観たのかわかりません。それほど印象深かったです。それはなぜでしょうか。

この画像には一つの特徴があります。普通のオリンピックの予告画像だったら、その国の伝統的かつ歴史的なものが映られるはずですが、この映像には日本伝統文化、例えば寿司、侍、着物、茶の湯などは一切出ていません。代わりにそこには現代日本大衆文化、つまりアニメとか漫画、ゲームのキャラクターが登場しています。ドラえもん、キャプテン翼、スーパーマリオなどのキャラクターは世界的に有名です。まるでそれが日本の象徴でもあるように見えます。

外国人にとって伝統文化と大衆文化は次の点で違うと思います。伝統文化は外国人には別の世界のものです。あくまでも他人のもので、外国人がそれに好みを抱くときは「憧れ」を感じるようになります。ですが、大衆文化は違います。特にアニメ・ゲームのキャラクターは子供のときから接するでしょう。子供はそれが日本のものであることを最初は知りません。ただ面白くて、かわいくて好きになります。そのあと振り返ってみるとそれが日本のも

のであることをわかるようになります。つまり、「日本のものだから好きだ」ではなく、「私が好きなものが日本のものだ」という風になります。

この違いは大きいです。先申し上げましたように、伝統文化は日本という固定観念を通らなければなりません。あくまでも「他人の文化」です。しかし大衆文化は自分が子供のときから慣れていて、また楽しんできた「自分の文化」です。「小さい時から一緒だったその文化の故郷が日本だ。だから私は日本に行きたい」ようになるのです。これが、本日私が強調したい「コンテンツの力」でございます。

私も小さい時から日本大衆文化には慣れていました。もちろん韓国は1998年まで日本大衆文化が開放されていなかったです。テレビドラマ、音楽(J-POP)、映画などは許されていませんでした。しかし漫画、アニメ、小説、ゲームなどのコンテンツは楽しむことができました。もちろん小説以外の漫画とアニメの場合、それが日本のものであることを隠して紹介されましたが、なぜかみなそれが日本のものだと知っていました。私の場合、ありがたく1994年(小5)ごろから家でNHK衛星放送を見ることができて、日本のアニメを日本語で観ることもできました。日本語は全然知らなかったですが。

1997年、中学2年生のときからは、もっと日本の大衆文化に興味を持つようになりました。その決定的なきっかけは『新世紀エヴァンゲリオン』というアニメにはまったことです。『新世紀エヴァンゲリオン』は韓国語でアフレコされ、レンタル用ビデオで輸入されていましたが、編集がひどすぎまして、正常的に鑑賞することができませんでした。私がはまったのは日本語のオリジナルバージョンを違法でコピーし、ハンガルの字幕を付けたものでした。クラスメートの中で回しながらみんなで見たりしました。私はその時から日本語に興味ができ、ひらがななど基礎的な日本語を学ぶようになりました。

日本製アニメに対する関心があるのあとにも続けられ、『新世紀 GPX サイバーフォーミュラ』、『スレイヤーズ』など日本のアニメなら何

でも見るようになりまし。日本のアニメは私の中高時代を支配しました。

ちょうどそのころ(1998年)、韓国の金大中大統領よって、日本大衆文化全面開放を議論し始めました。いろいろ反対も強かったですが、韓国政府は段階的に日本大衆文化を開放することを決定しました。最初は国際映画祭で受賞した映画から公開されました。北野武が監督した『HANA-BI』が韓国に公開された日本映画1号になりました。『HANA-BI』はあまりヒットしませんでした。そのあと『Love Letter』は映画のセリフ「お元気ですか」が流行語になるほど爆発的な人気を得ました。

確かに韓国と日本は今も政治的・歴史的な問題でよくもめています。仲が良いとはいえませんが、大衆文化の開放の後、少なくとも若者の間ではお互いの文化に対して以前より親密になったのは確実です。私が中学生のころは「日本のドラマが好き」と言ったら売国奴扱いされるのも珍しくなかったですが、今は普通にみな日本のドラマを見たり、日本の音楽を聴いたりします。日本でも2000年代以降「韓流ブーム」が起こり、K-POPスターが日本でコンサートをすることが普通になりました。政治的な関係は依然として厳しいですが、文化の交流はもっと活発になりました。これもコンテンツ、大衆文化の力ではないでしょうか。

私は日本についてもっとまじめに勉強したくて、ソウル所在の私立大学である中央大学校に入学しました。そこで日本語、日本文学、日本文化について本格的に勉強することができました。卒業の後は同大学の大学院に進学し、日本大衆文化について研究を始めました。日韓交流行事にも積極的に参加し、いろんな思い出をつくりました。

私の研究テーマは「ライトノベル」という主に10代や20代がよむ小説です。韓国では『日本ライトノベルのメディア性と消費様相に関する一考察』というタイトルで修士論文を提出しました。日本学をベースにし、ライトノベルをメディア論と社会環境に基づいて論じたものです。でもこの研究には限界がありました。それは実際的なデータの不足のことです。日

本研究のための資料が非常に限られていたです。より価値のある研究のためには必ず現場で研究する必要があったのです。それで私が選んだのが日本留学でした。東京大学大学院 情報学環・学際情報学府というところで、日本大衆文化をもっと深く研究したかったです。

今回の研究テーマは「メディアミックス」です。メディアミックスとは「特定のコンテンツが一定の経済効果を持った時、その作品の副次的作品を幾種類かのナラティブ・メディアを通して多数製作すること」を言います。そのプロセスを韓国修士論文で論じたライトノベルを中心に明らかにしようと思いました。

それではメディアミックスを行う主体はだれでしょうか。小説は小説家が書き、映画は監督が指揮します。ゲームは開発者がつくります。しかしメディアミックスは、数多くの会社関わっていて、事業をおこなう主体が誰なのか分かりづらいです。製作委員会がありますが、それも特定な人が導いていくわけではないはず。しかし各企業をつなぐ、また交渉を担当する人は必ずいます。私はその交渉者として「ライトノベルの編集者」を選び、インタビュー調査をしました。KADOKAWAで働いている6人の編集者を対し、インタビューを行って今は結果を分析中です。来年度1月13日まで論文を提出しなければならないので、頑張っています。

日本で修士号を取った後は博士課程に進学しようと思います。博士課程ではもっと立体的で深い研究がしたいです。米山奨学生になったおかげで現在まで安定的に研究ができたと思います。これからもコンテンツの力を信じて、研究を続け、大衆文化コンテンツを通した両国の交流に役立つ架け橋になります。